

平成 29 年度

国府台女子学院 中学部

推薦入試基礎学力調査

社 会

(理科とあわせて 50 分)

【注 意】

1. この問題は、「始め」の合図があるまで開いてはいけません。
2. 受験番号は、解答用紙の決められたところにはっきりと書いて下さい。
3. 問題を読むときに、声を出してはいけません。
4. 印刷が不鮮明でわからない場合や、その他わからないことがあった場合は、だまって手をあげ、先生にたずねて下さい。
5. 答えは、すべて解答用紙に記入して下さい。
6. 解答は、適切な漢字をもちいて記入して下さい。





2 日本の歴史について、次の文を読んで問いに答えなさい。

住居には「生命や財産を守る」「家族で団らんする」など、様々な役割があります。日本に住む人々は、どのような住居で生活してきたのでしょうか。

原始の時代には、地面を掘って柱を建てる堅穴住居が使われていました。奈良時代になると、貴族は(A)奈良の都で唐の建築をまねた屋敷に住むようになります。しかし、多くの農民は堅穴住居に住み続けていました。

(B)平安時代には、貴族の屋敷として a 寝殿造 が用いられるようになります。一方で、各地で力を付けていった武士は、貴族の屋敷とは異なる特徴を持つ館で生活していました。

b 武士の館 のまわりには堀や塀がめぐらされ、(C)戦いに備えていました。

室町時代になると、床の間を設けて畳をしきつめるなど、現在の和風住宅のもとになった c 書院造 が見られるようになります。(D)江戸時代には、庶民にも畳を使った住居が普及しました。

明治維新後は、西洋を手本として近代化を進め、洋風建築が建てられるようになります。大正時代はデモクラシーを唱える運動が盛んになり、(E)普通選挙法が成立した時代です。自由を求める風潮の中で大衆文化が発達し、和室と洋室の両方がある「文化住宅」に住む人々が増えました。

第二次世界大戦後は洋風の住居が増え、(F)高度経済成長の中で便利な家電製品も用いるようになりました。現在では快適さに加え、(G)耐震技術を取り入れるなど、安全性を重視した住居が好まれるようになっています。

(1) 文中の、a～c と最も関係がある画像を、次のア～カからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア



イ



ウ

写真「正倉院 正倉」

エ

写真「書院造り」

オ



カ

画像「武家屋敷」  
一遍上人絵伝より

※著作権の都合により、選択肢ウ、エ、カの画像を文字に置き換えています。

(2) 下線部 (A) の都は、唐の何という都をまねて計画されましたか、答えなさい。

(3) 下線部 (B) の時代の出来事として適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 極楽浄土を表現した平等院鳳凰堂が建てられた。

イ. 鑑真によって唐招提寺が建てられた。

ウ. 禅宗 様の円覚寺舍利殿が建てられた。

エ. 京都の東山に銀閣が建てられた。

(4) 下線部 (C) に関して、次の史料はある戦いに関する史料です。よく読んで、以下の問いに答えなさい。

モンゴル人が対馬・壱岐に襲来し、すでに合戦をしていると報告がありました。二十日までに急いで安芸に行き、モンゴル人が来たら安芸で(あ)を務める御家人と御家人でない人々を指揮して、防戦させなさい。一刻を争うことなので、將軍の命令によって通達します。

文永十一年十一月一日

武蔵守 在判

相模守 在判

武田五郎次郎殿

注 安芸…地名。現在の広島県の西部。

(出典：『東寺百合文書』 出題者により訳・編集)

① この史料はどのような戦いの際に書かれたものですか。

適切なものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 後鳥羽上皇と鎌倉幕府の戦い

イ. 元との1度目の戦い

ウ. 元との2度目の戦い

エ. 後醍醐天皇と鎌倉幕府の戦い

② 史料中の空らん(あ)には、莊園などで年貢の取り立てと土地の管理をする役職が入ります。ここにあてはまる適切な語句を答えなさい。

(5) 次のア～ウの出来事は、いずれも下線部 (D) の時代に起こりました。

古い出来事から順番になるように記号を並べかえなさい。

ア. 桜田門外の変

イ. 島原・天草一揆

ウ. 寛政の改革

(6) 下線部 (E) に関して、この法律の内容として適切なものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 25歳以上の男子に選挙権を与える。

イ. 25歳以上で15円以上の国税を納める男子に選挙権を与える。

ウ. 20歳以上の男女に選挙権を与える。

エ. 20歳以上で5円以上の国税を納める男子に選挙権を与える。

(7) 下線部 (F) の時期の説明として、誤っているものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 東京オリンピック開催に合わせて東海道新幹線が開通した。
- イ. アメリカ軍に占領されていた沖縄が返還された。
- ウ. 四日市ぜんそくなどの公害問題が発生した。
- エ. 農業生産が活発化し、兼業農家が減少して専業農家が急増した。

(8) 下線部 (G) に関して、下の地図は、最近30年以内に震度7を計測した地震の震源地を示したものです。このうち、ア～ウが発生した順番になるように並べかえなさい。



(9) 問題の文の内容と一致するものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 住居は同じ時代には身分に関係なく一種類である。
- イ. 奈良時代に畳を敷き詰めた住居が広く普及した。
- ウ. 大正時代には和洋折衷の住居に住む人々が増えた。
- エ. 日本の住居は外国の影響を受けずに発展してきた。

問題は次のページに続きます。→

3 日本国憲法に関する、次の文と憲法の一部を読んで問いに答えなさい。  
ただし、憲法の条文は現代かなづかいに直してあります。

日本国憲法は、1946年11月に公布され、翌年5月に施行されました。はじめに前文があり、それに続く第1条から第103条までの条文で構成されています。この憲法をつらぬく原則として、「国民主権」「平和主義」「(あ)」の3つを挙げることができます。また、国民の(A)三大義務も定められています。以下は、日本国憲法の一部です。

- 第1条 天皇は、日本国の(い)であり日本国民統合の(い)であって、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基<sup>もとづ</sup>く。
- 第2条 皇位は、世襲<sup>せしゅう</sup>のものであって、国会の議決した(B)皇室典範<sup>てんぱん</sup>の定めるところにより、これを継承<sup>けいしょう</sup>する。
- 第9条 日本国民は、正義と秩序<sup>ちつじょ</sup>を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる(う)と、武力による威嚇<sup>いかく</sup>又は武力の行使は、国際紛争<sup>ふんそう</sup>を解決する手段としては、永久にこれを放棄<sup>ほうき</sup>する。  
前項<sup>ぜんこう</sup>の目的を達するため、陸海空軍その他の(え)は、これを保持しない。国の(お)は、これを認めない。
- 第12条 この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。又、国民は、これを濫用<sup>らんよう</sup>してはならないのであって、常に(か)のためにこれを利用する責任を負う。
- 第22条 何人も、(か)に反しない限り、居住、移転及び職業<sup>せんたく</sup>選択の自由を有する。
- 第76条 すべて司法権は、(C)最高裁判所及び法律の定めるところにより設置する下級裁判所に属する。
- 第96条 この憲法の改正は、各議院の総議員の(き)の賛成で、国会が、これを発議し、国民に提案してその承認<sup>しょうにん</sup>を経なければならぬ。この承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際行われる投票において、その(く)の賛成を必要とする。

(1) 文中の空らん(あ)にあてはまる、適切な語句を答えなさい。

(2) 文中の2つの空らん(い)には同じ語句が入ります。適切な語句を答えなさい。

(3) 文中の空らん(う)～(お)にあてはまる適切な語句の組み合わせとして、正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. (う): 外交 (え): 軍隊 (お): 自衛権

イ. (う): 外交 (え): 戦力 (お): 交戦権

ウ. (う): 戦争 (え): 軍隊 (お): 自衛権

エ. (う): 戦争 (え): 戦力 (お): 交戦権

(4) 文中の2つの空らん(か)には同じ語句が入ります。適切な語句を5字で答えなさい。

(5) 文中の空らん(き)・(く)にあてはまる適切な語句の組み合わせとして、正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. (き): 過半数 (く): 過半数

イ. (き): 過半数 (く): 3分の2以上

ウ. (き): 3分の2以上 (く): 過半数

エ. (き): 3分の2以上 (く): 3分の2以上

(6) 下線部(A)の内容として誤っているものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 勤労の義務

イ. 子どもに教育を受けさせる義務

ウ. 選挙で投票する義務

エ. 納税の義務

(7) 下線部(B)について、現在の皇室典範で定められている内容として、誤っているものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 在位中の天皇が国事に関する仕事をすることができなくなった場合、皇族から選ばれた せつしやう 摂政 がその代わりをすることができる。

イ. 在位中の天皇が国事に関する仕事をすることができなくなった場合、自ら退位して皇太子が天皇に そくい 即位することになる。

ウ. 天皇に即位できるのは、皇族のうち男子のみである。

エ. 次の天皇に即位することができる順序は、天皇の長男が1番である。

(8) 下線部(C)の裁判官に対して、その裁判官をやめさせるかどうかの投票が衆議院選挙の際に じっし 実施されます。この制度を何と言うか、答えなさい。

推薦入試基礎学力調査 社会 解答用紙

1

I	(1)		(2)		(3)	
	(4)					
	(5)					
II	(あ)		(い)			
	(う)		(え)			
III	(1)				(2)	

2

(1)	a		b		c		(2)		
(3)			(4)	①			②		
(5)	→ →		(6)			(7)			
(8)	→ →		(9)						

3

(1)		(2)		(3)				
(4)			(5)		(6)		(7)	
(8)								

受験番号	
------	--